

日野町における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

「ふるさとを愛し、ふるさとを支える子どもたちの育成」をテーマに、地域に誇りを持ち、地域が大好きな日野っ子の育成をめざして、地域と学校が連携・協働して学校生活を支援する。

「日野を学び、日野で学び、日野から学ぶ」を合言葉に、地域学習を充実させ、地域と連携し、子どもたちが夢と志をもち、共に育ち、共に生き、ふるさと日野に愛着と誇りをもてる子どもたちの育成を目指している。

■本年度の具体的活動

すべての学校で学校運営協議会を開催し、地域と学校が連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えるまちづくりをめざし、取組を進めていく。

■本年度の成果

各学校区の地域学校協働活動推進員(ふるさと絆支援員)が中心になり、当初の計画に沿って順調に活動を実施できた。12月には、地域学校協働活動支援員交流研修会を開催した。各校のこれまでの取組内容を共有することと来年度に向けた見通しを話し合う場となった。研修会の中でCS全国大会(金沢大会)の金沢市立学校のPR動画を視聴したことは学びになった。

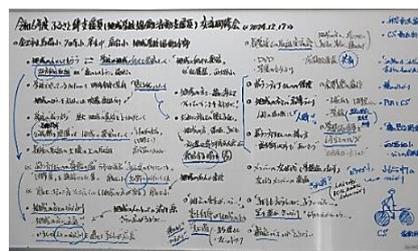
また、放課後子ども教室・地域未来塾については、学習の遅れを心配する児童・生徒や保護者の支えとなった。個別に指導を受けられる喜びを感じたり、自分の力の伸びを実感したりする子どもが増えた。特に、地域未来塾では、日野町少年センターの協力のもと、放課後学習の場を設けることができ、対象生徒の拡充を図ることができた。



【ふるさと絆支援員 交流研修会】

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

コミュニティ・スクールへ移行し2年目を迎えた。学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に向けた熟議を進めていく。さらに、CSの充実を図るため、各学校区の代表者や地域学校協働活動推進員による交流会を開催していく。



【ふるさと絆支援員 交流研修会の記録】

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

町内の全小中学校6校に地域学校協働活動推進員(ふるさと絆支援員)6名を配置し、教育委員会が委嘱している。青少年育成町民会議会長、日野町少年センター所長、学識経験者、小中学校長会代表、町PTA連絡協議会代表、各地区公民館代表、各小中学校教頭6名で日野町地域学校協働活動推進協議会を組織し、各学校区の協働本部が家庭や地域との連携を図っている。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和5年度よりすべての学校にコミュニティ・スクールを導入している。

■その他

今年度は、年度当初にCS代表者による意見交換会も開催した。CS推進および日野町青少年育成町民会議の諸活動に係る意見を交換することができた。今後は、町推進本部として各校の代表が集まって複数回の意見交換を行い、さらに充実した活動につながるようにしていきたい。